学校番号	112

令和８年度　社会科

教科	地理･歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高等学校　新地理総合」　（帝国書院）						
副教材等	新詳高等地図（帝国書院）・新地理総合ノート（書籍版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、「問題の提示　→　解答の予測　→　解決のために必要な知識　→　解決する」といった一連の過程で、自分の予測を発表したり、議論したりする活動を行います。また、『グーグル・アース』の活用や世界各地の映像や写真から、現在の地理的な事象への関心をもってもらおうと考えています。
普段の日常の生活に中で、地球の表面で起こるさまざまな自然現象、社会現象に興味、関心を持ちましょう。

2　学習の到達目標

①知識・技能：現代世界の地理的事象を系統地理的に考察できること。
②思考・判断・表現：現代世界の諸地域を，歴史的背景を踏まえて地誌的に考察できること。
③主体的に学習に取り組む態度：現代世界の地理的認識を養います。また、地理的な見方や考え方を培い，国際社会に主体的に生きるための自覚と資質を養います。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実践的な地理技能を習得している。また、現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。地図や統計，画像など地域に関する諸資料をもちいて，有用な情報を選択，活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付け、公民としての能力が備わっている。	地理にかかわる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、一夜分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察してり、地理的な課題の解決に向けて忽々したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地図に関心を持ち、世界で起きている自然現象や社会現象を積極的に考察しようとする。グローバルな視点から国際理解や国際協力の在り方を、地理的な視点から諸課題への対応を考察する。これらのことを通して、日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについて自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	地図と地理情報システム	①地図の読図 地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解。報収集、読み取り，まとめ。 ②地図や地理情報システム 目的や用途，内容，適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し，表現。 ③地図や地理情報システムについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。	a：日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に，地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。現代世界のさまざまな地理情報について，地図や地理情報システムなどを用いて，その情報を収集し，読み取り，まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 b：地図や地理情報システムについて，位置や範囲，縮尺などに着目して，目的や用途，内容，適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：地図や地理情報システムについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	考査	考査 レポート 課題	レポート 課題

	結び付きを深める現代世界	①地図の読図などを基に，方位や時差，日本の位置と領域，国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 ②地域構成について，位置や範囲などに着目して，主題を設定し，世界的視野から見た日本の位置，国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し，表現する。 特に、日本の領域の問題である竹島や北方領土、さらに中国が一方的に主張している尖閣諸島について正しく理解する。 ③現代世界の地域構成について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。	a：現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に，方位や時差，日本の位置と領域，国内や国家間の結び付きについて理解している。 b：現代世界の地域構成について，位置や範囲などに着目して，主題を設定し，世界的視野から見た日本の位置，国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：現代世界の地域構成について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	考査	考査 レポート 課題	レポート 課題

2学期	生活文化の多様性と国際理解	①世界の人々の特色ある生活文化を基に，人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 ②場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現する。 ③生活文化の多様性と国際理解について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。	a：世界の人々の特色ある生活文化を基に，人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。世界の人々の特色ある生活文化を基に，自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 b：世界の人々の生活文化について，その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：生活文化の多様性と国際理解について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	考査	考査 レポート 課題	レポート 課題

	地球的課題と国際協力	①地球環境問題，資源･エネルギー問題，人口･食料問題及び居住･都市問題などを基に，地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。 課題の解決には持続可能な社会の実現をめざした各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。 ②地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して，主題を設定し，現状や要因，解決の方向性などを多面的･多角的に考察し，表現する。 ③地球的課題と国際協力について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。	a：世界各地でみられる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に，地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 世界各地でみられる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に，地球的課題の解決には持続可能な社会の実現をめざした各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。 b：世界各地でみられる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について，地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して，主題を設定し，現状や要因，解決の方向性などを多面的･多角的に考察し，表現している。 c：地球的課題と国際協力について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	考査	考査 レポート 課題	レポート 課題

3学期	自然環境と防災	①我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に，地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに，自然災害の規模や頻度，地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。 地理情報について，その情報を収集し，読み取り，まとめる地理的技能を身に付ける。 ②地域性を踏まえた防災について，自然及び社会的条件との関わり，地域の共通点や差異，持続可能な地域づくりなどに着目して，主題を設定し，自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し，表現する。 ③自然環境と防災について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。	a：我が国をはじめ世界でみられる自然災害や生徒の生活圏でみられる自然災害を基に，地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに，自然災害の規模や頻度，地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について，その情報を収集し，読み取り，まとめる地理的技能を身に付けている。 b：地域性を踏まえた防災について，自然及び社会的条件との関わり，地域の共通点や差異，持続可能な地域づくりなどに着目して，主題を設定し，自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：自然環境と防災について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	考査	考査 レポート 課題	レポート 課題

	生活圏の調査と地域の展望	①生活圏の調査を基に，地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解する。 ②生活圏の地理的な課題について，生活圏内や生活圏外との結び付き，地域の成り立ちや変容，持続可能な地域づくりなどに着目して，主題を設定し，課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察，構想し，表現する。 ③生活圏の調査と地域の展望について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。	a：生活圏の調査を基に，地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。 b：生活圏の地理的な課題について，生活圏内や生活圏外との結び付き，地域の成り立ちや変容，持続可能な地域づくりなどに着目して，主題を設定し，課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c：生活圏の調査と地域の展望について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	考査	考査 レポート 課題	レポート 課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度